

約55年にわたる目屋ダムの役割を終えます ～目屋ダムから津軽ダムへバトンタッチに向けて～

目屋ダムは、昭和35年の運用開始から55年6ヶ月に渡り、岩木川沿川の洪水被害の軽減、かんがい用水の補給及び発電に貢献してきました。津軽ダムでは、平成27年度冬期から開始する試験湛水^{※1}に向けて準備を進めています。それに伴い、目屋ダムは平成27年9月末をもってその役割を終えます。

- 青森県が管理する目屋ダムは、9月末をもって役割を終えます。
- 目屋ダムは、昭和35年の運用開始から55年6ヶ月に渡り、岩木川沿川の洪水被害の軽減、かんがい用水の補給及び発電に貢献してきました。
- 一方、津軽ダムは、本体工事等を概成させ、平成27年度冬期から開始する試験湛水^{※1}に向けた準備を進めています。
- それに伴い、目屋ダムの放流設備や管理所の撤去などを行います。
- 目屋ダムの関連施設は10月から津軽ダムに引き継ぎます。

※1 津軽ダムの本運用前に貯水位を上昇及び下降させ、ダム堤体、基礎地盤及び貯水池周辺の地山等の安全性を確認するものです。

<発表記者会：青森県政記者会、弘前市記者会、専門記者会>

〈問い合わせ先〉

○目屋ダムに関するもの

青森県 県土整備部 河川砂防課 ダムグループ
〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1番1号
TEL 017-734-9664 (直通)

総括主幹 すずきのりあき 鈴木 憲昭 (内線6736)

○津軽ダムに関するもの

国土交通省 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所
〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田57
TEL 0172-85-3005 (代)

技術担当副所長 かとうたかし 加藤 孝 (内線204)

調査設計課長 えんどうとしひこ 遠藤 俊彦 (内線351)

約55年にわたる目屋ダムの役割を終えます

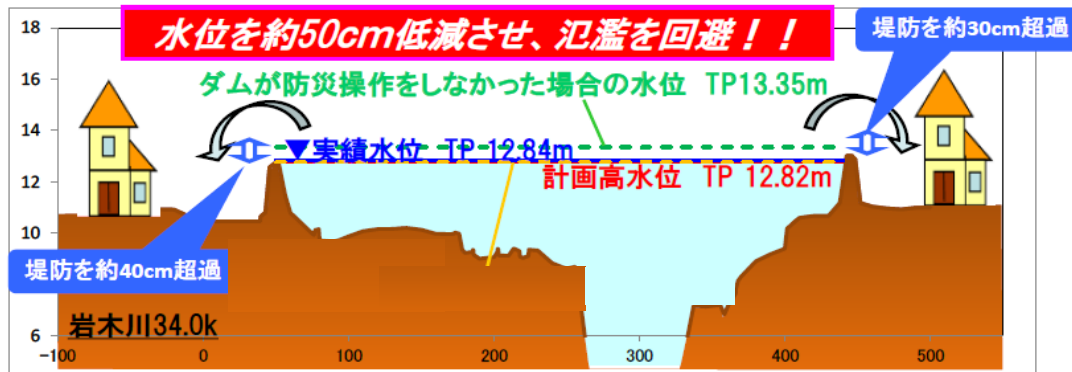
- ◆昭和35年4月から青森県が管理してきた目屋ダムは、9月末をもって管理を終了。
- ◆約55年にわたり、洪水被害の軽減、かんがい用水の補給及び発電の役割を担い、津軽地方の発展に寄与。

○目屋ダムの実績

- ・洪水被害の軽減 : 洪水調節回数157回(うち25回は計画(流入量 $500\text{m}^3/\text{s}$)を超える洪水)
H25.9.16台風18号による洪水では目屋ダムおよび浅瀬石川ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の鶴田町(岩木川34.0K)では堤防越水による氾濫を回避
- ・かんがい用水の補給 : 約12,500haの農地にかんがい用水を補給し、農作物の生育に貢献
- ・渇水への対応 : かんがい用水確保のため、ダムからの緊急放流を8回実施した
平成27年渇水では7日間の緊急放流を実施し、出穂期を乗り切った
- ・発電 : 最大出力11,000kW 年平均発電量4,580万kWh(約14,000世帯の年間電力量相当)を供給し、津軽地方の発展に貢献

主な洪水被害軽減の例

○H25.9.16台風18号



▲洪水流を満々に貯め込んだ目屋ダム



▲水位が堤防上面まで迫る(鶴田町)

主な渇水対応の例

○かんがい用水確保のため、緊急放流を実施

近年の緊急放流対応

- ・平成27年渇水: 8/12 ~ 8/18 (7日間)
- ・平成24年渇水: 8/11 ~ 8/16 (6日間)
- ・平成23年渇水: 8/2 ~ 8/18 (17日間)



目屋ダムの概要 (55年6ヶ月に渡るダム管理)

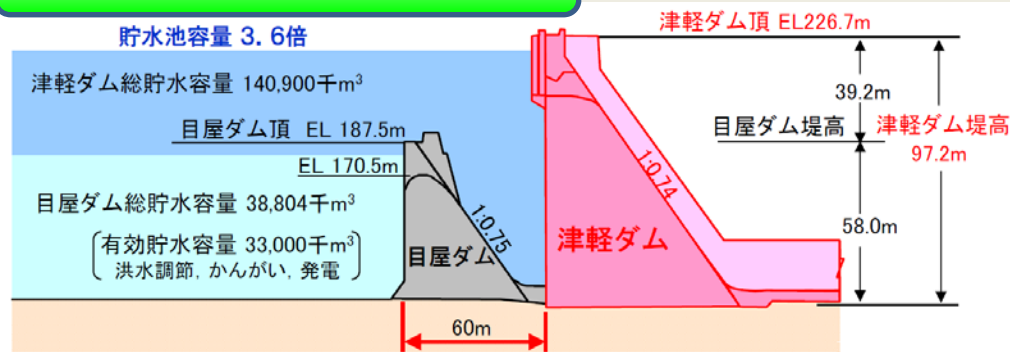
○目屋ダムの概要

目的 : 洪水調節、かんがい用水の補給、発電
 集水面積 : 172.0km²
 総貯水容量 : 39,000,000m³
 ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 ダム高 : 58.0m
 堤頂長 : 170.0m

○目屋ダムのあゆみ

昭和28年8月 建設着手(国)
 昭和35年3月 完成(青森県へ管理移管)
 平成20年4月 発電施設譲渡(東北電力(株)へ)
 平成27年9月 目屋ダムの管理終了

目屋ダムから津軽ダムへ



	目屋ダム	津軽ダム	
型式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	
目的	洪水調節、かんがい、発電	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道、工業用水道、発電	
堤高	58.0m	97.2m	1.7倍
堤頂長	170.0m	342.0m	2.0倍
堤体積	118,050m ³	759,000m ³	6.4倍
総貯水容量	39,000,000m ³	140,900,000m ³	3.6倍
有効貯水容量	33,000,000m ³	127,200,000m ³	3.9倍
集水面積	172.0km ²	172.0km ²	
湛水面積	2.05km ²	5.10km ²	2.5倍
完成年月	昭和35年3月	平成28年度(予定)	

目屋ダムの今昔

